

第 13 章

1.3.x 対応



13.1 XSLT とは？

XSLT (eXtensible Stylesheet Language Transformations) ^{#13.1} は、XML用のスタイルシート言語である XSL (eXtensible Stylesheet Language) ^{#13.2} の2つの機能、

1. XML 文書の構造を出力用に変換する
2. 1.の出力にフォーマット情報を付加する

のうち、1の部分についてのみを切り離し決定された仕様で、W3C ^{#13.3} によって勧告されています。XSL における XSLT の位置付けを図 13.1 に示します。

XSLT を簡単に表現すると、

XML 文書を別の XML 文書の変換するための言語

ですが、XML から XML への変換だけではなく、XML から HTML への変換など、XML 文書を様々な構造の文書に変換するという目的でも利用することができます。

したがって、XSLT を用いることによって、1つの XML 文書を基に、複数の形式の Web ページを作成することも可能になります。例えば、1つの XML 文書を用意し、そこから、

通常の Web ブラウザで閲覧するためのページ (HTML)

-
- #13.1 : XSL Transformations (XSLT) Version 1.0
<http://www.w3.org/TR/xslt>
XSL Transformations (XSLT) Version 1.1
<http://www.w3.org/TR/xslt11/>
XSL Transformations (XSLT) Version 2.0
<http://www.w3.org/TR/xslt20/>
 - #13.2 : Extensible Stylesheet Language (XSL) Version 1.0
<http://www.w3.org/TR/xsl/>
 - #13.3 : World Wide Web Consortium
<http://www.w3.org/>